

【 会員投稿 】

歌は元気を与えてくれる 篠崎 辰夫

本紙投稿「ノスタルジア・菱電機器」(岩田尚之さん)の中に、ペギー葉山さんのことが書かれてあった。昭和34年5月の会社開所式に招かれて歌ってくれたもの。大変懐かしく当時の記憶がよみがえってきた。

当時私は総務課にいて、開所式の準備に追われていた。当日もペギー葉山を最も近くで見られたはずだが、その容姿は全く覚えていない。裏方で飛び回っていたのでその余裕がなかったのかも知れない。ただ、歌った曲のひとつ「南国土佐を後にして」ははっきり覚えている。いい曲だなあ・・・と。



この曲は、なんと式典と同じ月に発売されたばかりの曲。馬電と同一年だ。そのあとの大ヒットは周知のとおり。この曲を聴くと当時の思い出がよみがえってくる。いつまでも私の心に残る、元気を与えてくれる一曲である。

あれから56年、ペギー葉山は今年82歳になる。今もなお圧倒的な存在感としっかりした歌声を披露して活躍中である。

最近の曲でいい曲がある。「夜明けのメロディー」という曲。NHKラジオ深夜便でオンエアされて話題になった。

作詞は五木寛之で、作曲は弦哲也。五木寛之が初老を迎えた団塊の世代にエールを贈る意味で書いた詞だそうだ。

何とも言えない切ないメロディーとほろ苦い思い出を呼び起こす歌詞。そして語るように唄うペギー葉山の歌唱力。心に沁みるいい曲です。

「歌は文化、人がどのように落ち込んでいても元気を与えてくれる力を持っている。」

.....ペギー葉山の言葉です。



「夜明けのメロディー」

歌：ペギー葉山
作詞：五木寛之 作曲：弦哲也

朝の光が さしこむ前に
目覚めて 孤独な 時間が過ぎる
あの友は あの夢は 今はいずこに
還(かえ)らぬ季節は もう
忘れてしまえばいい
すてきな思い出だけ
大事にしましょう
そっと ローズさむのは
夜明けのメロディー
花のいのちは みじかいけれど
重ねた 歳月 背中に重い
歓びも 悲しみも みんな人生
愛して 別れて また
どこかで逢えればいい
ちいさな幸せでも
大事にしましょう
そっと ローズさむのは
夜明けのメロディー
還(かえ)らぬ季節は もう
忘れてしまえばいい
すてきな思い出だけ
大事にしましょう
そっと ローズさむのは
夜明けのメロディー
そっと ローズさむのは
夜明けのメロディー
夜明けのメロディー